



近藤 大介 議員

商工業の経営革新に支援は

町長 商工会と連携していく



町内に新たな工業団地はない

【近藤】 新型コロナウイルスの影響により、経済環境が大きく変化している。変化に適切に対応した産業振興策が必要である。

企業誘致のため、新たに工業団地を整備する考えは。

【町長】 現在、事業者に対し、すぐに紹介できる工業用地がない状況である。新たな工業団地の整備は、首都圏などから地方への進出動向などを見ながら計画を立てる必要があると考える。

経営革新を支援していくための施策は。

【町長】 販路拡大支援補助金など活用してほしい。商工会とも連携していく。

【近藤】 地域産業を振興していくためにマンパワーの拡充が不可欠である。人材確保に必要な移住定住施策をどう考えているか。

【町長】 第2期総合戦略に空き家の活用を上げている。移住や定住につながるような取り組みの推進に、関心を持って情報収集に当たりたい。

【近藤】 図書館サポートの制度を導入し、本の修理や書架の整理、図書館主催事業への参画など、住民ボランティアに図書館運営にかかわってもらっている自治体がある。

図書館の利活用を推進するため、本町でも図書館サポーターを募つてはどうか。

【教育長】 今後の図書館運営に必要な制度と考えている。今年度中に準備を進め、来年度にはサポーター募集をして運用を開始したい。

【近藤】 図書館の魅力を高めるため、喫茶スペースの確保や、キッズコーナーの充実も必要ではないか。



なかやま温泉となりの町立図書館

図書館サポーター 制度の導入は

教育長

来年度に運用を開始する

【近藤】 図書館サポートの制度を導入し、本の修理や書架の整理、図書館主催事業への参画など、住民ボランティアに図書館運営にかかわってもらっている自治体がある。

要ではないか。

町民が図書館に行きたくなるような空間づくりの考えは。

【教育長】 全国的に図書館の魅力を高める取り組みがさまざまに行われている。現施設でスペースを新たに設けることはむずかしいが、工夫してできる範囲で取り組みたい。